

# 接続語 レベル1

日 前  
月 名

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

人はそれぞれ違っています。(1) **イ** 僕の好きなものはあなたの嫌いなものかもしれません。同様に僕が嫌いなものをあなたは好きかもしれません。だから人と人がわかりあうことはとても難しいことです。(2) **ウ** 人間はどうかしてお互いをわかりあおうと努力します。(3) **オ** 人は一人では生きていけないからです。(4) **ア**、お互いをわかりあうために役立つことの一つが、それぞれの育ってきた過程や環境、(5) **エ** 「生い立ち」を知ることです。過去のことを語り合うのもなかなか良いものですよ。

ア そして    イ たとえば    ウ それでも    エ いわば    オ なぜなら

- (1) **イ** (例をあげる)    (2) **ウ** (逆の内容)    (3) **オ** (理由の説明)    (4) **ア** (付け加える)  
(5) **エ** (言い換える)

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～クから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「情けは人のためならず」という言葉は「人に対して情けをかけておけば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくる」という意味の言葉である。(6) **ケ**、最近「情をかけることは、かえってその人のためにならない」という意味だと思っている者も多い。それも当然のことだ。(7) **コ**、いつの頃からか「自己責任」という言葉がもてはやされ、人に頼らず自分のことは自分で解決する生き方を正しいものとする価値観が世に浸透したからだ。言葉の意味は世の中の変化とともに変わっていくものである。(8) **ク** 「情をかけることは、かえってその人のためにならない」という解釈の方が正しいものとして認定される時代がいつか来るかもしれない。(9) **キ**、私自身の人生を振り返るならば、人に情けをかけられるばかりで、(10) **カ** 返報した記憶がない。生きていくうちに少しは情けを世に巡らさなければと思う今日この頃である。

カ 全く    キ ところで    ク だから    ケ だが    コ というのも





(6) ケ (逆の内容)  
(9) キ (話題の転換<sup>かん</sup>)

(7) コ (理由の説明)  
(10) カ (「ない」を強調)

(8) ク (原因から結果)